

報告事項才

令和元年度第2回鳥取県立博物館協議会の概要について

令和元年度第2回鳥取県立博物館協議会の概要について、別紙のとおり報告します。

令和元年12月20日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

令和元年度第2回鳥取県立博物館協議会の概要について

令和元年12月20日
博 物 館

標記協議会を開催しましたので、その概要等を下記のとおり報告します。

記

- 1 日 時 令和元年11月19日(火)午後1時から午後2時50分まで
- 2 場 所 鳥取県立博物館会議室
- 3 議 題
 - ・平成30年度博物館事業に係る決算について
 - ・令和元年度博物館事業の実施状況について
 - ・令和2年度博物館事業の事業計画案について
 - ・鳥取県立美術館整備の検討状況について
 - ・博物館資料収集基本方針について

4 主な意見

(1) 令和元年度博物館事業の実施状況について

- 「手塚治虫のメッセージ展」では家族連れが少なく個人での来館者が多いとの報告であったが、個人で楽しめる展示も良く、そのような企画展があっても良い。
⇒自然分野の展示では(夏季休業中の子供の来館を意識して企画し)家族連れが多かったが、今回は個人客が多くこれまでと異なった客層となっていたので、どういう客層にどれだけ浸透したかといった分析も必要だと感じた。
- 黄檗展の内容は面白く良かったが、展示解説等の文字が小さく読みにくかった。文字が多い場合でも読みやすくする工夫が必要。
⇒じっくり解説を読まれる方もおられるので、そのような方を対象に解説は詳しく書いているが、読みやすくする方法については今後工夫していきたい。
- 土方稲嶺展の國華展覧会図録賞受賞は全国的にも誇れる素晴らしい賞であり、館内に紹介するコーナーを設けるなどもっとアピールが必要ではないか。
⇒博物館のフェイスブック等を通じてPRしており、その後に図録の申込も来ているが、指摘も踏まえ館内での表示等のPRを行う。

(2) 令和2年度博物館事業の実施計画案について

- 「バス利用による小学校招待事業」の回数増は学校にとってありがたい。学校独自では交通機関の問題や保護者負担のことがあり、実施が難しい状況にある。
⇒美術館の開館に向けソフト面の工夫をしているところ。「美術を通じた学び」として美術作品の鑑賞方法(対話型鑑賞授業等)も含めて学校で事前学習した上で博物館に来ていただき実物を鑑賞していただいている。昨年度は5校今年度は10校分を予算化し実際は14校で実施。さらに拡充していきたい。
- 博物館に興味のない家庭も多いので、そうした方にも機会を提供してほしい。小学校招待や博物館からのアウトリーチ事業等も増やして良いと思う。学芸員という仕事があることを子どもにわかることにもなる。子どもとの結びつきを大事にしてほしい。
⇒最近、学童保育、子ども園、福祉関係の来館が増えてきており、そういったとこ

るに目を向けないといけないと感じている。

(3) 鳥取県立美術館整備の検討状況について

○事業者の応募はどの程度あったのか。

⇒正式な提案書提出はこれからであり、入札前の段階であることから、説明会への参加業者などは、現時点では説明できないので理解いただきたい。

○文化財部局は知事部局の所管となったが、美術館は教育委員会が所管するのか。

⇒法改正により、来年度から博物館・美術館等の施設は知事部局での所管が可能となったが、美術館設置条例の制定時点では教育委員会が所管していることから、そのように規定している。

(4) 博物館資料収集基本方針について

○博物館にとって資料の収集は最重要の事項であり、収蔵庫の容量を勘案するような記載があるが、この記載はふさわしくないのではないか。むしろ必要な収蔵庫を確保する方法を考えなければいけないのではないか。

⇒その前段部分で適切な広さや環境での保管という言葉を入れているが、書きぶりについては再考する。

○収集方針を作成することは良いこと。自然分野では、鉱物や化石は実物を保存できるが、植物は取ったら終わりとなるものもあり、実物標本だけではなく写真やデジタルデータとして残すことも考えていくべきである。

⇒収集資料はすべてデジタルデータ化して登録しており、オープンにしている資料も多い。今後は図書館、公文書等と共通システムでの資料のデジタルアーカイブ化を図りインターネット上で閲覧できるようなシステム構築を検討している。

⇒本日いただいた意見を館内で再検討し、次回協議会で最終案として示させていただきたい。

《参考》委員名簿

氏名	役職等
石谷 孝二	鳥取大学名誉教授
李 素妍	鳥取大学地域学部准教授
木ノ下 智恵子	大阪大学 21 世紀懐徳堂准教授、アートプロデューサー
郡山 鈴夏	山陰海岸ジオパーク推進協議会ジオパーク専門員
坂本 敬司	前鳥取県史編さん室長
<議長> 谷口 博繁	元鳥取県立博物館長
田村 閑美	鳥取女性中央会理事
鶴崎 展巨	鳥取大学農学部教授
中尾 廣太郎	鳥取東部美術家協会会長
野地 恒有	愛知教育大学教授
矢田貝 繁明	大山自然歴史館長
山口 朝子	鳥取県家庭教育アドバイザー
米田 恵子	鳥取市立国府東小学校校長